

大分市老人クラブ連合会「シニア大学」

演題：「one team OITA」の実現に向けて

日時：令和5年11月29日（水）11:00～11:50

場所：J:COM ホルトホール大分3階 大会議室

one
オール市民でまちを創る
team
ワンチーム
おおいた
OITA

世代も性別も職種もこえて
みんなのチカラをひとつに。
理想のまちがこれからはじまる。

大分市長 足立 信也

大分市長プロフィール



足立信也（あだち しんや）

生年月日 1957年（昭和32年）年6月5日

出身地 大分市上戸次

趣味 スポーツ観戦

座右の銘 紅蓮（Warm Heart Cool Head）

学歴

- 1976年（昭和51年） 大分県立大分舞鶴高等学校 卒業
- 1982年（昭和57年） 筑波大学医学専門学群 卒業
- 1990年（平成 2年） 医学博士（筑波大学）

職歴

- 1982年（昭和57年） 筑波大学附属病院医員（研修医）
- 1984年（昭和59年） 筑波大学附属病院医員
- 1988年（昭和63年） きぬ医師会病院外科診療科長
- 1994年（平成 6年） 筑波大学臨床医学系外科講師
- 2003年（平成15年） 筑波大学臨床医学系外科助教授
- 2003年（平成15年） 国立霞ヶ浦病院消化器科医長
- 2004年（平成16年） 筑波メディカルセンター病院診療部長
- 2004年（平成16年） 第20回参議院議員選挙（大分県選挙区）で初当選
- 2009年（平成21年） 厚生労働大臣政務官
- 2010年（平成22年） 第22回参議院議員選挙（大分県選挙区）で2期目当選
- 2011年（平成23年） 筑波大学客員教授
- 2016年（平成28年） 第24回参議院議員選挙（大分県選挙区）で3期目当選
- 2022年（令和 4年） 一般社団法人 新時代戦略研究所 研究顧問
- 2023年（令和 5年） 大分大学客員教授
- 2023年（令和 5年） 大分市長就任

人生で影響を受けた言葉

「君達は大変困難な道を選択した。

一生 勉強し続けなければならない。」

【榊原 仟（さかきばら しげる） 筑波大学 副学長】

「10年後に当たり前になる治療を研究しなさい」

【岩崎 洋治（いわさき ようじ） 筑波大学 教授】

「Creative mind and judicious mind」

【江崎 玲於奈（えさき れおな） 筑波大学 学長】

※ 1973年（昭和48年）ノーベル物理学賞を受賞（「半導体内におけるトンネル現象に関する実験的発見」）

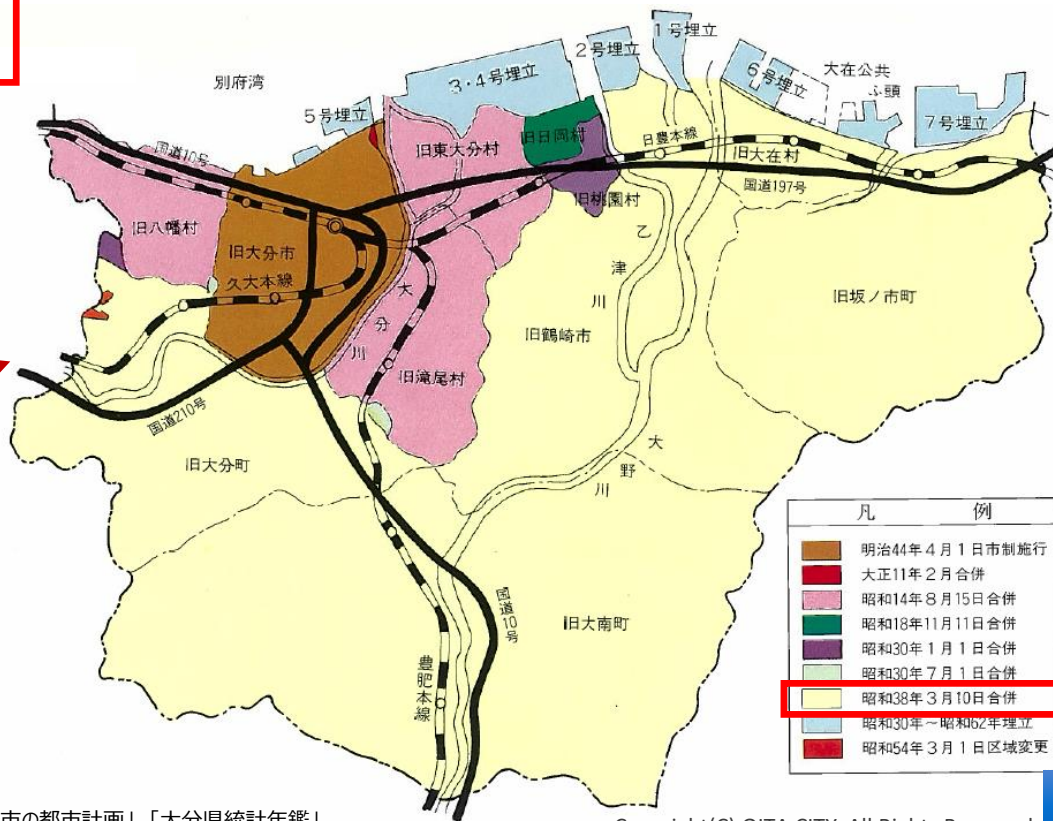
市域（面積）の変遷

2023年 502.39km² (令和5年) ※中核市平均403.49km²

1963年 343.82km² (昭和38年)

1962年 64.23km² (昭和37年)

1911年 20.17km² (明治44年)



※出所：「大分市統計年鑑」、「中核市都市要覧（令和4年度）」、「大分市の都市計画」、「大分県統計年鑑」

県内の人口の状況（直近1年間）

出典：「第1回新しいおおいた共創会議」

市町村	R4.7月～R5.7月人口動態											
	R4.7人口	R5.7人口	人口増減	増減率	出生	死亡	自然増減	自然増減による増減率	転入	転出	社会増減	社会増減による増減率
県合計	1,107,821	1,097,919	-9,902	-0.89%	6,675	17,002	-10,327	-0.93%	41,209	40,784	425	0.04%
大分市	474,516	472,887	-1,629	-0.34%	3,416	5,443	-2,027	-0.43%	15,040	14,642	398	0.08%
別府市	113,844	113,348	-496	-0.44%	601	1,825	-1,224	-1.08%	5,990	5,262	728	0.64%
中津市	82,137	81,966	-171	-0.21%	546	1,205	-659	-0.80%	4,614	4,126	488	0.59%
日田市	61,013	59,912	-1,101	-1.80%	345	1,128	-783	-1.28%	1,829	2,147	-318	-0.52%
佐伯市	64,723	63,296	-1,427	-2.20%	276	1,270	-994	-1.54%	1,507	1,940	-433	-0.67%
臼杵市	34,807	34,224	-583	-1.67%	146	681	-535	-1.54%	920	968	-48	-0.14%
津久見市	15,314	14,796	-518	-3.38%	45	360	-315	-2.06%	287	490	-203	-1.33%
竹田市	19,515	18,969	-546	-2.80%	64	442	-378	-1.94%	569	737	-168	-0.86%
豊後高田市	21,915	21,691	-224	-1.02%	113	395	-282	-1.29%	1,034	976	58	0.26%
杵築市	27,017	26,455	-562	-2.08%	120	516	-396	-1.47%	968	1,134	-166	-0.61%
宇佐市	51,431	50,803	-628	-1.22%	261	990	-729	-1.42%	1,965	1,864	101	0.20%
豊後大野市	32,609	31,860	-749	-2.30%	105	749	-644	-1.97%	1,087	1,192	-105	-0.32%
由布市	32,466	32,261	-205	-0.63%	242	513	-271	-0.83%	1,903	1,837	66	0.20%
国東市	25,358	24,949	-409	-1.61%	99	601	-502	-1.98%	1,493	1,400	93	0.37%
姫島村	1,626	1,571	-55	-3.38%	3	34	-31	-1.91%	34	58	-24	-1.48%
日出町	27,491	27,376	-115	-0.42%	187	371	-184	-0.67%	1,133	1,064	69	0.25%
九重町	8,197	7,990	-207	-2.53%	32	195	-163	-1.99%	270	314	-44	-0.54%
玖珠町	13,842	13,565	-277	-2.00%	74	284	-210	-1.52%	566	633	-67	-0.48%

・令和5年7月1日現在の人口：1,097,919人

・この1年で
内訳として
 9,902人減少
 自然増減 ▲10,327人（全市町村において減少）
 社会増減 +425人（8市町村で増加、10市町村で減少）

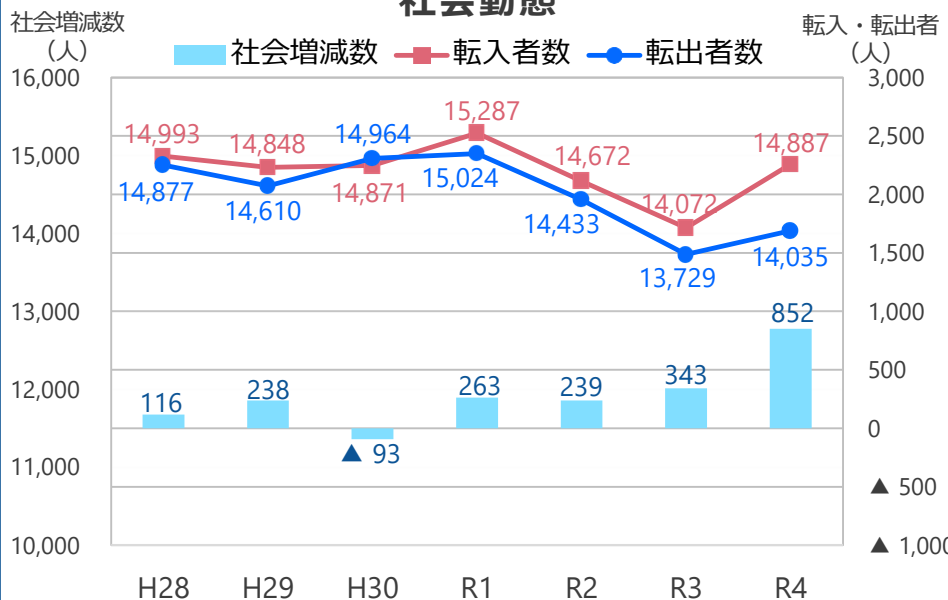
大分市の人口の状況

大分市の人口 **472,887人** (令和5年7月1日現在)

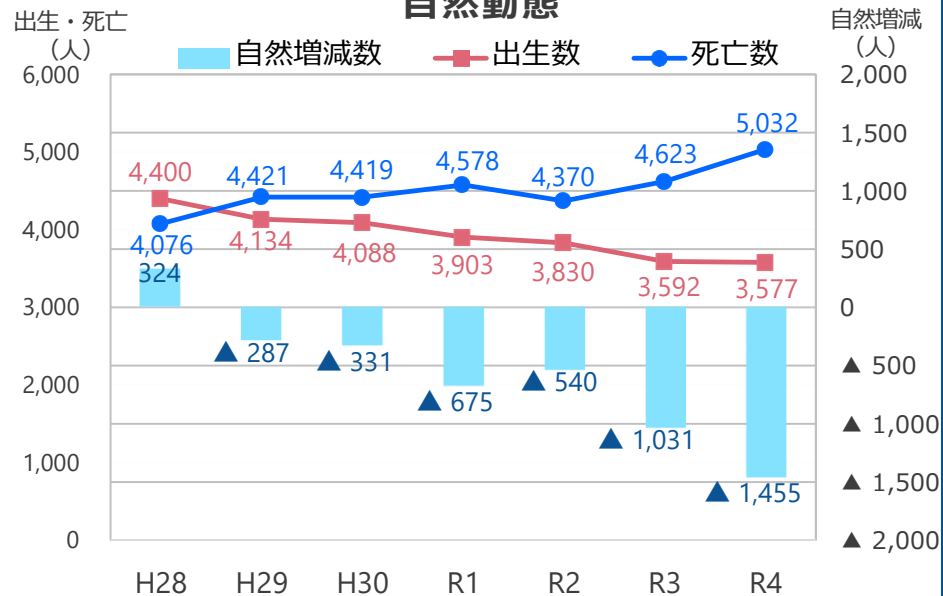
※資料:「大分県の人口推計」

前年同月比 **-1,629人** (社会動態 +398人、自然動態 -2,027人)

社会動態



自然動態



資料: 大分県「大分県の人口推計報告 令和4年版」※各年10月1日時点

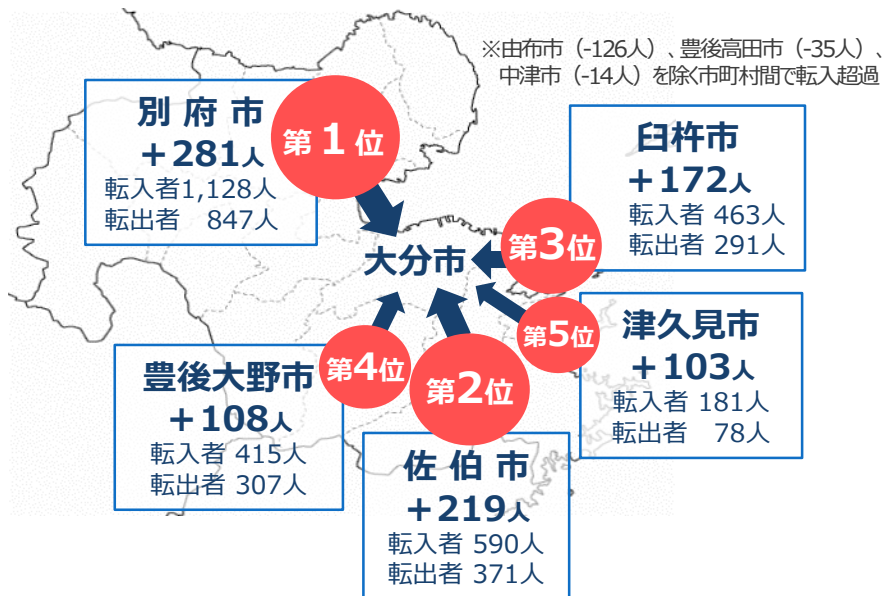
大分市の人口の状況

資料：大分県「大分県の人口推計報告 令和4年版」

県内他市町村との人口移動

1,100人の転入超過

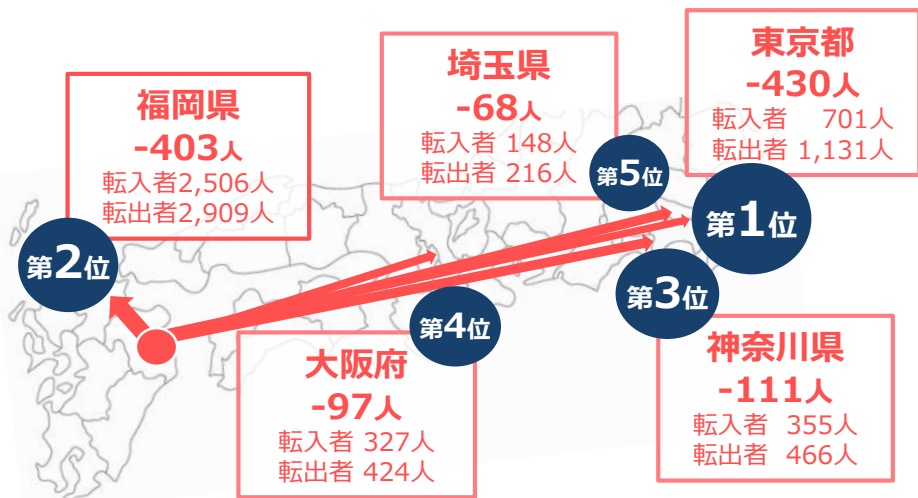
(男性：+ 529人、女性：+ 571人)



大分県外との人口移動

261人の転出超過

(男性：-108人、女性：-153人)



※転出超過人数の年齢区分で最も多いのは「20～24歳」

※ 前住地または転出先が不明の者 13人 (転入者:38人、転出者:25人) を含まない。

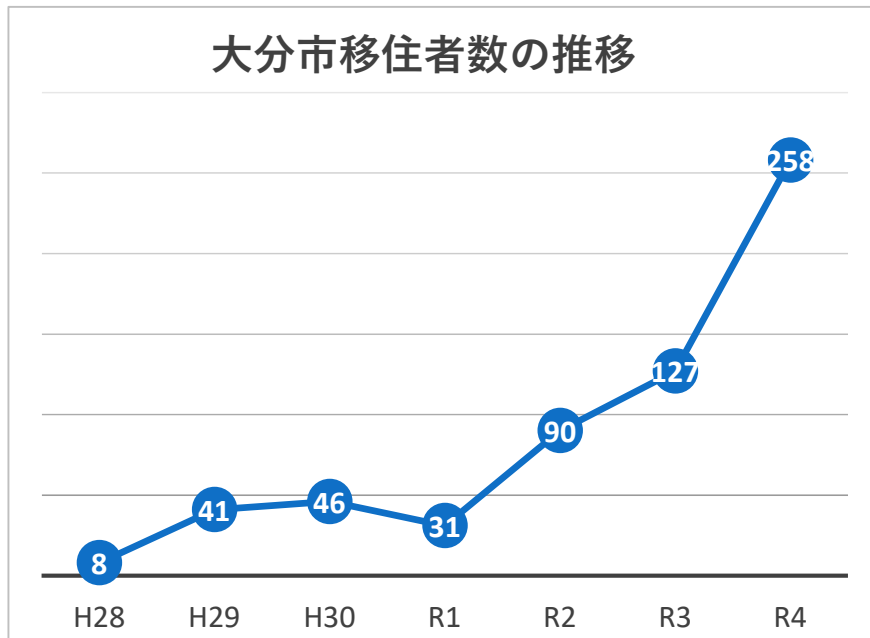
大分市への移住者の状況

資料：大分市おおいた魅力発信局調べ

大分市への移住者数

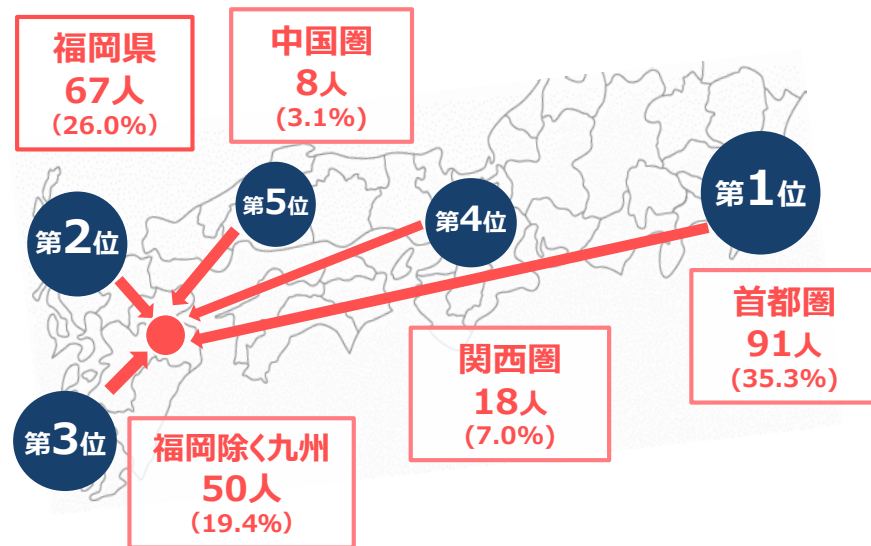
県内市町村**1位** 過去最高の**258人**
(男性：127人、女性：128人、不明：3人)

大分市移住者数の推移



移住前の住所内訳

首都圏からの移住者が**35%超**



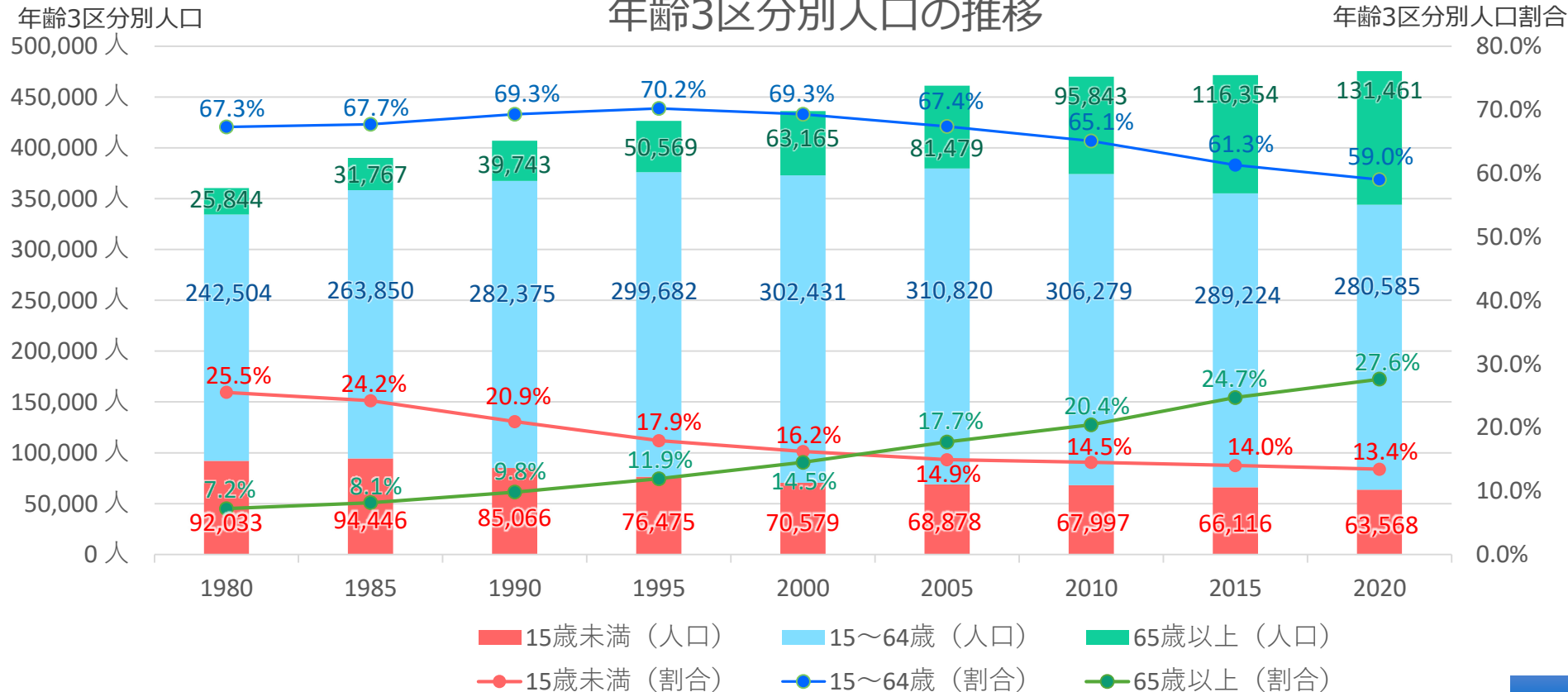
※移住者のうち「**30歳代以下**」が**約70%**、世帯においては「**子育て世帯**」が**約35%**

大分市の人口の状況

資料：総務省統計局「国勢調査」

年齢3区分別人口の推移

年齢3区分別人口割合



「ひとが真ん中。」

ひとを守る

自然災害や感染症などのリスクをあらゆる角度から想定し、被害を最小限に抑え、市民の生命と財産を守ります。

ひとを育む

妊娠・出産・子育てから大学などの高等教育まで切れ目のない支援で、誰もが安心して子どもを産み育てることができる環境をつくります。

ひとを支える

少子高齢化による地域コミュニティの衰退などに備え、誰もが役割を持ち、お互いに支え合い、自分らしく輝ける社会の実現をめざします。

ひとを豊かに

市民生活の向上と心豊かな暮らしを実現します。また、このまちを次世代へ引き継ぐため、持続可能なまちづくりを進めます。

ひとを元気に

人とまちが元気に輝き続けられるよう、新たな魅力が生まれるまちづくりを進めます。

少子化対策を最優先

少子化が進行すると・・・

- ・ 地域コミュニティの弱体化
- ・ 社会保障制度の疲弊
- ・ 地域経済の縮小
- ・ 労働力の不足
- ・ 市の財政の硬直化

・・・など社会や経済に多大な影響

ひとを守る

安全・安心な医療・防災体制

◆東九州メディカルバレー構想の発展

東九州地域において、血液・血管関連の医療機器のみならず、介護・福祉機器分野を含む**医療関連機器産業**について、研究開発促進や地場企業の育成と成長、医療技術人材の育成など**4つの拠点づくり**に取り組み、産業集積を活かした地域の活性化と医療関連分野でアジアに貢献する地域をめざす。

1 研究開発の拠点づくり

〈産学官連携による研究開発の推進〉



大分大学でのニーズ探索交流会

2 医療技術人材育成の拠点づくり

〈医療技術に係る人材の育成〉



大分大学スキルラボセンター

3 血液・血管に関する医療拠点づくり

〈海外人材への透析技術の研修〉



大分大学での研修 九州保健福祉大学での実技

4 医療関連機器産業の拠点づくり

〈地場企業に対する支援〉



感染症対策に貢献する「チーム大分」

【経過】

H22.10

「東九州地域医療産業拠点構想（東九州メディカルバレー構想）」策定・公表

H23.12

地域活性化総合特別区域計画「東九州メディカルバレー構想特区」認定

H29.3

地域活性化総合特別区域計画（第2期計画）再認定

R4.3

地域活性化総合特別区域計画（第3期計画）再認定



※出所：大分県

Copyright(C) OITA CITY. All Rights Reserved.

安全・安心な医療・防災体制

◆新型コロナワクチンの接種

高齢者などの重症化リスクが高い方のほか、接種可能な市民への接種（全額公費）を実施（R6.3.31まで）。



◆消防指令業務の共同運用

これまで各市町村の消防本部ごとに受付けていた119番通報を本市が一手に受け付けるものであり、都道府県単位での一本化は全国初。



◆戸次地区防災拠点

災害救援物資の輸送拠点と地域住民等の緊急避難場所としての機能を持つ防災拠点施設を整備（R6年度供用開始予定）。



◆災害予防対策として樹木を事前伐採

台風などの自然災害に備え、倒木による道路通行の支障や長期間の停電を未然に防止するため、樹木を事前伐採。



ひとを育む

妊娠・出産・子育てから高等教育まで切れ目のない支援の充実

◆保育所等のおむつ処分

保護者や保育士の負担軽減を図るため、令和5年10月から使用済みのおむつを公立ならびに私立認可保育所等で処分できるように、必要な備品の購入や処分業務への支援を実施。



◆大分市にこここ保育支援事業の実施

保護者の経済的負担の軽減と子育ての環境整備のため、R6年度から認可外保育施設を利用する保育の必要性がある第2子以降の3歳未満児の保育料を無償化（上限3万5千円）予定（R5年度：システム開発等）。
※認可保育施設における第2子以降の3歳未満児の保育料は令和元年10月から完全無償化



◆中学生の学校給食費の無償化

食費や教育費がかさむ中学生の子どもがいる子育て世帯の支援のため、市立中学校に在籍する生徒の学校給食費を令和5年度3学期の給食提供分から無償化。

※R5年度における保護者等の負担軽減額：約1億6,400万円（減収となる学校給食費分）



妊娠・出産・子育てから高等教育まで切れ目のない支援の充実

◆子ども医療費助成の拡充

R6年度から助成の対象を公的支援が少ない**高校生まで拡充予定**（R5年度：システム改修等）。

対象者	R6年3月診療分まで	
	対象医療費	自己負担
未就学児	入院・通院 歯科・調剤	なし
小・中学生 (市町村民税 非課税世帯)	入院・通院 歯科・調剤	なし
小・中学生 (市町村民税 課税世帯)	入院・調剤	なし
	通院・歯科	医療機関ごと1日500円 (月上限4回まで)
高校生等	助成なし	



対象者	R6年4月診療分から	
	対象医療費	自己負担
未就学児	入院・通院 歯科・調剤	なし
小・中学生 (市町村民税 非課税世帯)	入院・通院 歯科・調剤	なし
小・中学生 (市町村民税 課税世帯)	入院・調剤	なし
	通院・歯科	医療機関ごと1日500円 (月上限4回まで)
高校生等	入院・調剤	なし
	通院・歯科	医療機関ごと1日500円 (月上限4回まで)

※拡充後のイメージ

◆大分市奨学資金の拡充を検討

修学困難な学生の負担軽減と修学後に大分で活躍する人材の育成・確保などを目的に、**新たな奨学資金制度**の導入に向けた**調査・検討**を実施。 ※外部検討委員会の開催状況（R5.8/17、9/28、10/17、11/15、11/28）



ひとを支える

自分らしく輝ける社会の実現と支える体制づくり

◆パートナーシップ宣誓制度の導入

性的マイノリティの方々への理解を深め、市民一人ひとりが互いに人権を尊重し合い、共に生きる喜びを実感できる地域社会の実現をめざし、令和5年9月1日から制度を導入。



おおいたパートナーシップ宣誓制度のマーク

◆介護認定調査システムの導入

介護認定の調査や審査会において、タブレット端末及び専用ソフトの導入のほか、ペーパーレス会議等を令和5年度から進めることで業務の効率化を図る。



介護認定調査システム導入（イメージ）

◆行政評価制度の再構築

行政の限られた人的・財政的な資源の中で、より効果的な外部評価の仕組みを導入するなど、現在の行政評価の手法を見直すことで、持続可能な行財政基盤を確立。

※R5.6月に庁内横断的なプロジェクトチームを新たに設置



ひとを豊かに

国内有数の「産業都市大分」 -九州一の製造品出荷額-

製造品出荷額等

九州 2019年～2021年**1**位

(単位：兆円)

2019年			2020年			2021年		
順位	自治体	製造品 出荷額等	順位	自治体	製造品 出荷額等	順位	自治体	製造品 出荷額等
1	大分市	2.77	1	大分市	2.34	1	大分市	3.18
2	北九州市	2.32	2	北九州市	2.11	2	北九州市	2.63
3	京都郡苅田町	1.73	3	京都郡苅田町	1.31	3	京都郡苅田町	1.20
4	宮若市	1.29	4	宮若市	1.20	4	宮若市	1.18
5	中津市	0.64	5	中津市	0.68	5	中津市	0.67
6	福岡市	0.58	6	福岡市	0.60	6	福岡市	0.62
7	熊本市	0.46	7	長崎市	0.45	7	合志市	0.54
8	都城市	0.45	8	熊本市	0.43	8	熊本市	0.45
9	長崎市	0.45	9	都城市	0.43	9	都城市	0.44
10	合志市	0.43	10	諫早市	0.41	10	諫早市	0.42

資料：2022年経済構造実態調査・令和3年経済センサス活動調査・2020年工業統計調査

全国 2019年**13**位 2020年**13**位 2021年**12**位 (単位：兆円)

2019年			2020年			2021年		
順位	自治体	製造品 出荷額等	順位	自治体	製造品 出荷額等	順位	自治体	製造品 出荷額等
1	豊田市	15.17	1	豊田市	14.70	1	豊田市	14.98
2	川崎市	4.08	2	市原市	3.97	2	倉敷市	4.62
3	市原市	4.07	3	堺市	3.55	3	市原市	4.25
4	横浜市	3.93	4	大阪市	3.53	4	堺市	4.23
5	倉敷市	3.88	5	横浜市	3.52	5	横浜市	4.15
6	大阪市	3.57	6	倉敷市	3.47	6	大阪市	4.08
7	堺市	3.48	7	神戸市	3.41	7	川崎市	3.96
8	神戸市	3.42	8	川崎市	3.40	8	神戸市	3.42
9	名古屋市	3.30	9	東京特別区	3.00	9	東京特別区	3.41
10	広島市	3.10	10	名古屋市	2.99	10	名古屋市	3.36
11	太田市	2.99	11	四日市市	2.87	11	四日市市	3.18
12	東京特別区	2.93	12	広島市	2.80	12	大分市	3.18
13	大分市	2.77	13	大分市	2.34	13	広島市	2.78
14	四日市市	2.76	14	太田市	2.27	14	北九州市	2.63
15	岡崎市	2.58	15	京都市	2.14	15	京都市	2.62

地域経済の活性化と持続可能なまちづくり

◆水素エネルギー導入の推進

「大分市水素利活用計画」に基づく取組のひとつとして、**水素**を活用する**家庭用燃料電池（エネファーム）の設置**や**業務用燃料電池、燃料電池自動車の購入**に対して**助成**。

※【受付期間】R5.8/1～R6.3/29 【補助金額】各補助制度をご確認ください



◆省エネ家電の購入促進

温室効果ガス排出削減の取組のひとつとして、市民がエアコンや冷蔵庫を購入する際に、**省エネ性能の高い製品**を選択することを促進するため、**購入費用の一部を補助**。

※【受付期間】R5.8/25から受付開始、11/20に申請額が予算上限に達したため、**受付を終了**



◆若手起業家の育成

若者が気軽に立ち寄り、起業に関する知識の**学び**の場や、同じ創業意欲を持つ**若者等が出会う**ことのできる場、**思考やアイデアを磨いていくことのできる交流の場等**を提供。

※若手起業家育成施設（中央町3丁目5-16 ワザワザビル4階）をプレオープン（R5.9/24～3/20）



地域経済の活性化と持続可能なまちづくり

◆着地型観光推進事業

アフターコロナ及び福岡・大分デスティネーションキャンペーン（令和6年）などを見据えた取組みとして、工場夜景クルーズプランのモニターツアーの実施や日本100名城に選定されている大分府内城の御城印を作製・販売。

※参考：福岡・大分デスティネーションキャンペーン（R6.4~6）、北部九州インターハイ（R6.7~8）総体、全国豊かな海づくり大会（R6.11/10）



◆ワーケーション推進事業

本市のビジネス客の来訪が多いといった特性と温泉や食などの観光資源を活かし、ワーケーションを推進することで、出張者等の新たな観光ニーズをキャッチ。

ひとを元気に

文化・芸術の振興と新たな魅力の創出

◆アーバンフェスタ開催事業

新たな魅力の創出として、若者を惹きつけるスケートボードやBMX、ダンスなどのアーバンスポーツが体験できるイベントを令和5年10月に開催。

※【開催日】10/8,9 【場所】お部屋ラボ 祝祭の広場 【来場者数】3,200人



◆アーティストバンク推進事業

文化・芸術の活動者及び活動可能な場所をデータ化し、マッチングすることで文化・芸術団体や個人のアーティスト等の活動を支援。



◆おおいた物産・食・観光魅力発信事業

大都市圏での観光物産展の開催やイベント等へ出展するとともに、観光大使の活用やMICEの誘致のほか、新たな道の駅「たのうらら（令和6年度供用開始予定）」に関するイベント等を実施。



※割愛

未来の大分のために

オール市民でまちを創る

one team ITA

ワンチーム
おおいた

ご清聴ありがとうございました